

## 会 議 録

会議の名称	平成29年度第3回本庄市総合教育会議
開催日時	平成30年 1月17日(水) 午前・午後 1時30分から 午前・午後 3時00分まで
開催場所	市役所 504会議室
出席者	構成員：吉田市長、勝山教育長、富沢教育長職務代理者、岡崎委員、今井委員  教育委員会事務局：稲田教育委員会事務局長、高橋教育総務課長、木村学校教育課長、加藤生涯学習課長、杉原文化財保護課長、堀口体育課長、前川図書館長、塩原教育総務課長補佐  事務局：山下部企画財政部長、笠原企画課長、折茂企画課長補佐、松井主任
欠席者	落合委員
議題 (次第)	1 開 会 2 市長挨拶 3 教育長挨拶 4 議 題 (1) 次期教育大綱(案)について(協議) (2) 今後の総合教育会議において協議すべき事項について(意見交換) 5 その他 6 閉 会
配付資料	・次第 ・資料1-1：次期教育大綱(案)について ・資料1-2：(次期)本庄市教育大綱(案) ・資料1-3：(現行)本庄市教育大綱 ・資料2：今後の総合教育会議において協議すべき事項について
その他特記事項	なし
主管課	企画課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>本日は、大変お忙しいところ、平成29年度第3回本庄市総合教育会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。私、本日の司会を務めさせていただきます、企画課の笠原と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>なお、落合委員より事前に欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>それでは、これより、平成29年度第3回本庄市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>なお、本日は傍聴の希望者はありません。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。</p>
事務局 (企画課長)	開会にあたりまして、吉田市長よりご挨拶をお願いします。
市長	<p>皆様にはお忙しい中、今年度第3回目の本庄市総合教育会議にご参集いただきまして誠にありがとうございます。また、学校行事や市の行事をはじめ、様々な行事にもご参加いただいておりますことにもお礼申し上げます。</p> <p>本日の会議ですが、次期教育大綱案についての協議ということで、前回までにはほぼ固まっているところがございますが、改めて最終的な確認を皆様にしていただければと思います。さらに、今後の総合教育会議において協議すべき事項について、色々と意見交換をさせていただきたいと思います。</p> <p>どうぞよろしく願い申し上げます、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (企画課長)	ありがとうございました。続きまして勝山教育長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。
勝山教育長	<p>平成30年に入りまして、各学校でも3学期が順調にスタートしたところでは、中学3年生については、いよいよ受験が始まりまして、各学校とも少しピリピリとした雰囲気となっているところでは、</p> <p>また、学校の方ではインフルエンザが流行ってきておりました、学級閉鎖をしている学校も出てきており、少し心配しているところでは、</p> <p>本日は本年度第3回目の総合教育会議ということで、皆様方からいただきましたご意見等につきましては、今後の教育施策につなげてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。会議に先立ちまして、事務局より配布資料の確認をさせていただきます。本日の資料といたしまして</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本日の次第</li> <li>② 資料1-1：次期教育大綱（案）について</li> <li>③ 資料1-2：（次期）本庄市教育大綱（案）</li> <li>④ 資料1-3：（現行）本庄市教育大綱</li> </ol>

	⑤ 資料2：今後の総合教育会議において協議すべき事項について以上5点でございます。不足等はございませんでしょうか。 (なし)
事務局 (企画課長)	早速ではございますが議題に入らせていただきます。本庄市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、市長が本会議の議長となることとされております。これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。
市長	要綱に基づき、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな運営にご協力をよろしくお願いいたします。 本日の会議録でございますが、本庄市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、「会議録には、市長及び市長が指名する1人の構成員が署名するものとする」とあります。本日の会議録につきましては、私と勝山教育長が署名するというのでよろしいでしょうか。 (異議なし) それでは、事務局にて作成された会議録につきましては、本日出席の皆様にご確認いただいた後に署名を行い、その後市ホームページにて公表させていただくこととします。
市長	それでは、早速議事に入らせていただきます。まず「議題(1)次期教育大綱(案)について」事務局より説明をお願いします。
(1) 次期教育大綱(案)について	
事務局(企画課長補佐)	(資料1-1、1-2、1-3に基づき説明)
市長	大綱案の中身については前回色々ご議論いただきましたので、今回はパブリックコメントの結果を踏まえて最終的なご議論をいただき、本日ここで大綱を決定できればと思っております。 今後のスケジュールを含め、皆様から何かご意見等はございませんか。
市長	2月15日にパブリックコメントの結果閲覧の周知をすれば、すぐに大綱を公表してしまってもよいと思うのですが、なぜ公表が4月になっているのでしょうか。大綱が決まれば、すぐに発表してしまった方がよいと思うのですが。
教育長	決裁が済めば、すぐに出せるのではないのでしょうか。
事務局(企画財政部長)	ご指摘のとおり、本日の会議で決定していただき、その後決裁が済めば完成となるわけでございますが、これまでパブリックコメントをかけた他の計画等についても、市議会全員協議会での報告が済んでからを公表のタイミングとしてございますので、本大綱についても2月または3月の全員協議会のタイミングを見ながら公表ということになるかと思っております。一方で4月については大綱の公表ではなく施行ということで修正させていただきます。

<p>市長</p>	<p>それでは、その辺の今後のスケジュール等については遅滞なく公表していくということで、あとは事務局に任せるということでよろしいでしょうか。また、大綱の内容についてもこれで決定としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、(案)を取り、正式に次期教育大綱として決定させていただきたいと思います。</p> <p>それでは次に、「議題(2)今後の総合教育会議において協議すべき事項について」に進みたいと思います。まずは、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>(2) 今後の総合教育会議において協議すべき事項について</p>	
<p>事務局(教育総務課長)</p>	<p>(資料2に基づき説明)</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>教育というと、とかく教育委員会の中だけでやることが多く、確かにそれで完結する部分もあるのですが、市長部局と連携しないと進められない課題も中にはあると思います。この総合教育会議は、市全体の教育の今後のあるべき姿や方向性について、総合的な見地からご議論いただく場であると考えております。そのため、広く教育全般に対して、「これは今後しっかりと研究していくべき」、あるいは「これはもっと対応策を考えるべき」等について合意ができれば、総合教育会議の意志として各部局へ取り組むように示すこともできるのではないかと考えております。</p> <p>皆様方から何かご意見等はございますでしょうか。</p> <p>もしなければ、私の方からひとつ提案させていただきたいと思います。</p> <p>今回のパブリックコメントでも「スマートフォン等のネット社会への問題」という意見があったのですが、実は、青少年の健全育成について市の方向性を定めていく青少年育成市民会議等でも、ネット社会における子どもたちの健全育成については問題や課題があるのではないかと意見が出てきています。これについては教育委員会だけではなく子育て支援や児童福祉の観点からも含め、市全体で取り組んでいくべき課題ではないかという非常に強い問題意識が私の中にありますので、皆様の同意がいただければ、この会議で取り上げ市としてしっかりと取り組んでいくべきという方向性が出せればと思っています。</p> <p>ここからは私が今までに聞いたお話をさせていただきたいと思います。</p> <p>実は、青少年育成市民会議の会長が、子どもたちへのネットの悪影響について熱心に研究しており、かつては中学生の携帯電話から始まり、最近ではスマホへ進化し、仲間とラインでつながる一方でネットいじめが起きており、さらに今では問題が低年齢化し、今やお母さんが、静かになるからと言って子どもにスマホや</p>

	<p>タブレットを渡して、フィルターがかかっているならいざ知らず、結局動画がひっきりなしに見られてしまい、2歳くらいからスマホやタブレットの使い方を覚えてしまって、絵本を渡しても、なぜっても画面が動かないとわかると絵本放り投げてしまう、そういう状況が起きているということです。さらにフィルターがかかっていない状況だと、小さいうちから非常にショッキングな画像を見てしまうこともあります。スマホが出回ってまだ数年なので、そういう子どもがどのような影響を受けているのかはまだ検証されていません。大人になったときにどういう風な影響が出るのか、これから非常に危惧されることがたくさんあり、会長は熱心に警鐘を鳴らしておられます。</p> <p>私もその話を聞いて、この問題に対しては市を挙げて真剣に取り組んで、例えば啓発を行うなり警鐘を鳴らすなり、何らかの対策を講じる必要があると感じているところでございます。</p> <p>これについて、皆様からご意見等いただければと思います。</p>
富沢教育長職務代理人	<p>ネットについての問題は最終的には対策を考える必要がありますが、今は「悪い、悪い」と言っているだけで検証ができていないため、かなり時間がかかると思います。ネット問題についての講演会をいくつか聞いて感じたことは、発生する問題について、講演者や講演団体がついていけない、小中学生の方が講演をしている年配者に比べ理解しているということです。結局、ネットに携わる時間を減らそうとしか言っていない人がほとんどなのが現状です。</p> <p>我々に何ができるかと言うと、ネット問題について正しく語れる人は現状ここには誰もいないと思うので、まずは本当に先進的知見のある人の話を聞いて、問題点を理解できるレベルまでいけるかどうかだと思います。例えば、この会議に知見のある人を呼んで話をしてもらうことは可能なのでしょうか。</p>
市長	<p>総合教育会議でやるのは可能だと思います。ただ、よりふさわしいやり方もあるのではないのでしょうか。</p>
富沢教育長職務代理人	<p>当然学校等でやってもらうという話もあると思いますが、その前に我々がこの場で語り合うのであれば、我々の知識が十分なところに達していないと駄目だと思います。何も知らないで話し合うのと、現状についてエッセンスを聞いてから話し合うのとでは全く違います。まずは我々が教育を受けて学習しないと進まない気がします。</p>
市長	<p>問題は常に起き、進んでいて、当然我々よりも学校現場や児童相談所の方がより問題の先端にふれているわけで、日々起きているそれらの問題を我々がここで全て勉強していくことは不可能です。総合教育会議としてまずできることは、この課題について市全体としてしっかりと取り組みなさいという方向性を出すくらいかなと思います。</p>

	<p>私自身も漠たる中で提案していますが、学校で起きているネット問題と幼稚園や保育園で起きているそれは、根は同じだと思います。対処する部署が違うからといって連携が全然取れないのは好ましくなく、例えば発達障害のお子さんの支援は、幼稚園、保育園、学校をつないでその問題に対応する流れができており、ネットも市全体で取り上げる必要があると感じています。</p>
富沢教育長職務代理者	<p>発達障害に関してはすでに膨大なデータがあり、発達障害学というのもあります。一方でネット問題はまだ学問になっていません。この会議で教育界に対しこういう方向で取り組んでいくと言うためには、データを集めて困ったと言うだけでなく、次にこういう問題が予測されるのでこういう対策を取りましょうという段階までいかない施策に対する提言はできないと思います。そういう意味で、ネット問題に対して数段上の話を聞かないといけないという意見を申し上げました。</p>
市長	<p>確かに対策を取るのであれば、是非そういうことは必要かなと思います。 お二方はいかがですか。</p>
今井委員	<p>たまたま私のゼミの学生が幼稚園の保護者に対してスマホ利用に対するアンケートを実施したのですが、保護者の9割以上がスマホを所持し、小学生に兄や姉がいる場合その7割くらいはスマホを利用させており、さらに今では2歳くらいの乳幼児を対象にした専用のアプリもたくさんあり、親は玩具代わりに使わせているという結果も出ています。おとなしくさせるためにはどうしても使うという場合や親自身も人とつながるために利用しているという場合など事情は様々で、問題ばかりに目を向けがちですが、必要なコミュニケーションツールとして利用されている部分もあると思います。また、教育界も今後ICTを取り入れる流れがある中で、上手い利用方法を考えていけるのか私自身難しいと感じています。</p>
市長	<p>おっしゃるとおり、光と影の部分は絶対にあると思います。ただ、影の悪影響の部分があるのであれば未然に防がなくてはならないと思います。</p>
今井委員	<p>アンケートだったからかもしれませんが、7～8割の親が子どものスマホ時間を制限していたり、悪影響に関しても子どもに対しては意識が高いという結果が出ていました。詳しい実態はわかりませんが、なるべく子どもにそればかりにならないようにという気持ちはあるので、幼稚園や保育園時は親がコントロールできるかなと思います。ただし、小学生や中学生になるとコントロールが効かなくなってくる部分がありますので、その辺が違う問題になってくると思います。</p>
岡崎委員	<p>新しい技術がひとつ出てくると、それに伴い今までにないことを経験するというのはよくあることですが、携帯電話が出始めた</p>

	<p>ときも電波が悪影響を及ぼすのではと騒がれました。また今のスマホでいうと、画面から出るブルーライトの光が目の神経に良くなく、長時間になると睡眠障害をもたらすと言われ、実際に体に害を及ぼす面も出てきているそうです。さらに学力との関連でいうと、ゲームやスマホを何時間もやっているため、傾向的に学力が低いという統計的な事実も出ています。それらを抑える意味では、単純に時間を制約すればいいと思いますが、今井委員がおっしゃるように、現状必需品としてそれなしでは何も生活できない社会がきている中で、市として今のうちから考えて教育していくのは大切なことだとは思いますが。</p>
市長	<p>総合教育会議としてどう取り上げどう取り組むか、形はまだ見えませんが、今の社会で教育環境、もっと言うと子育て環境全般を考えると、ネット問題は避けてとおれない気がします。ただ、私自身も正直わからないまま投げている感があります。</p> <p>教育長何か所見があればお願いします。</p>
教育長	<p>確かに大きな課題で、この会議の趣旨も含め何ができるのかということですが、市PTA連合会と青少年育成市民会議と教育委員会で話し合っているのは、当初は市としてスマホの約束事を作りましょうという話が出てきていましたが、市でやるよりまずは保護者がスマホについての危険性を理解し、保護者からそういう意見が上がってきてから、各PTAで研修会を持ち、その中で考えていくのがいいのではないかという方向で今きています。例えば共和小では、「家庭教育宣言」を一年かけて作ろうという話になり、その中にスマホのことも入っています。学校では大きな問題ですが、ある意味これは家庭の問題ですので、どこまで学校でできるかということもあります。それらを踏まえ、保護者自身その問題性について学習する中で気づいて、うちの学校ではこういう決まりを作ってみんなで守りましょうという形でやるのはどうかという方向できています。</p>
市長	<p>現在私が会長を務める青少年問題協議会ですが、非行少年について話し合うための場として設けられた背景から、乳幼児や幼稚園・保育園児を対象とする人は現在もその会議には入っていません。ただ、今やネット問題は青少年というより幼児期から考えなくてはいけないため、もっと幅広い人たちを集める必要があるという話も会議では出てきています。</p> <p>悩ましいのは、行政や学校が情報を発信しても、瞬時に流れるネットの情報の方がインパクトもあるし効き目もあります。こういう会議でいくら議論しても情報はなかなか外には流れませんから。また地域的ではなく全世界的な問題のため、我々もどう取り組んでいけばいいのかという難しさはあると思います。</p> <p>そのため、富沢先生がおっしゃるように、やはりまずは知見の深い人を探していくのが大事なのかなと思います。</p>

富沢教育長職務代理者	そういう人が探せれば、市民向けの講演会や講習会をやることも考えられますね。
市長	問題は常に起きていますので、どのように地方行政が関われるかだと思います。私もネットなしでは多分生活できないので、もしかしたらネット中毒かもしれませんし。大人になってから見たのと、子どものうちから、しかもショッキングな動画を垂れ流し状態で見ってしまった子どもたちがどんな影響を受けるのかというのは、まだ見えない部分が多くあって、将来を考えると非常に怖い気がします。
市長	今後この会議で取り上げるべき事項について、他に意見のある方いらっしゃいますか。
今井委員	学校訪問したときに、小さな学校が多くて、そこの職員数が少なく、一方で先生の負担が大きいという現状を感じました。もちろん、大きい学校だから負担が軽いと言うわけではありませんが。以前には、一クラスは30人以下にするという流れができたりましたが、そういう部分での市としてのサポート体制については、この会議で話し合ってもいいものなのではないでしょうか。
市長	この会議には制約等はないので、基本的に何を話してもいい場です。 この問題については教育長、いかがでしょう。
教育長	<p>中教審の特別部会において教師の働き方について審議をしており、昨年12月末に中間報告がありました。学校業務の仕分けと役割分担を三段階に分けており、一段階目が「学校以外が担った方が良さだろうという業務」、例えば、登下校の見守りや給食費の徴収がこれにあたります。二段階目が「学校の業務だが必ずしも教員が担う必要がない業務」、調査統計の回答や部活の指導が挙げられています。三段階目が「教員の仕事だが負担軽減が可能である業務」、例として授業準備、学習評価・成績処理、支援が必要な子どもの家庭への対応等です。三つに分けているのですが、それぞれやる人が必要になりますので、どうしても予算措置が必要になってくるかと思います。例えば給食費ですと本市でも公会計になっていますが、文科省でも公会計化して徴収業務は学校から外すようにという方向性が出てきています。そういったことを含めて、教員の働き方についてはこの会議でご議論いただければありがたいなと思います。</p> <p>ちなみに、残業月80時間以上が過労死ラインと言われていますが、朝の7時30分に学校に出勤して夜の8時頃までいると80時間を越えてしまいます。実はこういう先生は結構います。そういう先生が今たまたま突然死した場合、勤務時間を調べたときにそういう実態が分かれば働き方に問題があったということにつながってくるかと思います。</p> <p>学習指導要領が変わって一週間の授業コマ数が増えている一</p>



	方、教員の数は変わらないのが現状です。平成32年度からの新学習指導要領でもさらに増える予定ですので、ますます拍車がかかるのではないかと感じています。
市長	今の文科省の話ですが、学校以外への振り分けについてその分人手が必要になってくるかと思うのですが、予算措置や役割分担については、国はどう考えているのでしょうか。
教育長	学校以外が担うものの担い手として、例えば登下校の見守りや給食費の徴収ですと、自治体、教育委員会、保護者、地域、警察などが例として挙げられています。
市長	現在の学校応援団など地域の力を学校へ振り向けていることは素晴らしいことだと思いますが、それはあくまでボランティア的な活動であって、本当に先生のサポートをするとなるとどうしてもお金をかけて人を雇わなければならない局面が必ず出てくると思います。それを実施するにあたっては、自治体単独ではなく国や県にも補助を出してもらいたいという思いもあります。補助等があれば、先生方の負担の軽減については行政としてはきちんとやるべきだなと思います。 ちなみに、これはいつ頃から始まっているのですか。
教育長	やれるところからやっていくという形です。
市長	やると手を挙げれば、補助が出るのでしょうか。
教育長	来年度に向けて国の方でも予算措置をしており、本市もスクールサポートスタッフについて手を挙げているところです。
富沢教育長職務代理者	この会議のすごいところは、市長部局と教育部局のトップとそれぞれの部局の職員が一同に会しているところだと思います。そのため、教育委員会事務局の職員は、教育委員会の問題点や学校現場で実際に困っていることなどを、この会議でどんどん出して全員で情報共有していくともっと面白いかもしれません。
市長	職員からとなると中々手を挙げづらいと思いますので、教育委員の皆さんが教育委員会の定例会で色々と話を聞きながら、市長部局へ出した方がいいと思うものは積極的に出してほしいと思います。
市長	他に何かある方いらっしゃいますか。一応この場で話題だけでも出しておきたいということでも結構です。
岡崎委員	教育委員会で毎年作成している前年度の成果の評価書について、当然当年度の施策にはその評価が反映されているかと思うのですが、現在の決算が終わる11月頃ではなくもっと早い段階でまとめることはできないのでしょうか。他の市を見るともっと早い段階でできているところもあるようです。
市長	教育委員会事務局長、説明をお願いします
事務局（教育委員会事務局長）	「教育行政の点検評価書」では前年度の教育の取り組みの評価をしていますが、なるべく具体的な実績の数字を入れて作成しています。そのため、議会の決算審査前というのは中々難しいところ

	で、11月頃の完成となっております。
市長	岡崎委員から他の市について話がありましたが、それが施策の展開に有益なのであれば参考にすべきかと思えます。
岡崎委員	私が見た中では、3月末時点での点検シートみたいなものができている市もあったような気がします。
市長	評価書が早い段階で出ることによる教育行政へのメリットはどのようなことが考えられますか。
岡崎委員	半年以上経過している11月に出す評価の結果が、どれだけ次年度へ反映できるのか、もっと早い段階でできていれば次年度の方向性をもっと話し合うことができるのではと思います。
市長	決算前には表立った数字として出せない中で、内部的には前年度こういう結果が出ているから、今年度はこういう方向で行こうということで話し合いをしているのが現状ではないでしょうか。
事務局（教育委員会事務局長）	そのとおりで、内部では話し合いはできますが、数字的なものはやはり決算前に外に出すのは難しいところでございます。
市長	他にいかがでしょうか。次年度に向けた提言等があればお願いします。
岡崎委員	子どもの教育レベルを上げるという一つの目標の中で見逃せないのが家庭環境かと思えますが、例えば経済的な面から見た家庭の貧困の問題についてはプライベートな話も絡んでくるため、一方的に学校が対処できない部分もあると思います。また市からの援助等で成り立っている部分も多々あると思うのですが、そういうレベルの底上げを図っていくということが、市としてどのくらい必要なかというところが心配なところではあります。
市長	そう感じるのは、具体的な事例に日々接していることからでしょうか。
岡崎委員	例えば児童養護施設である上里学園とかですと、親御さんの元で育てられないという子たちがそこで暮らしながら学校へ通っていますが、それに近い家庭が意外と多いのではないかという気がしています。特に、親が働いているため子どもが帰宅しても家に親がいなくて、夕食はコンビニで買って食べて、何となく学校へ通っているというような家庭のお子さんが意外といるのではないかと思います。当然そういう環境ですと宿題等の勉強もできず、それに伴って学力も低下してくるということがあるとすれば、そのあたりの対応について総合教育会議でどういう形でできるのかと思いました。
市長	個々のお子さんについて家庭環境で何か問題が発生し通報があれば表立って分かりますが、現実的には外に問題が出ないだけで、貧困や育児放棄等の実態がそこかしこにあるのではないかというご指摘かと思えます。 家庭の問題は、実際に問題が起きないと対処できないというの

	が非常に歯がゆいところではあります。児童福祉等の現場でも、虐待は別として、問題が発生し通報等があってはじめて行政は動けるのではないのでしょうか。
教育長	確かに、学校生活の中だけでは見えにくい部分があります。極端に汚れている衣服を着ている子もいないですし、普通に生活していれば気付くのは難しいです。ただ、何かの折に子どもから小さなサインが出てああそうだったのかと分かり、家庭訪問したりするという感じです。
岡崎委員	統計的にどのくらいいるか分かりませんが、そういう子どもがいれば手を差し伸べる必要があるかなと思います。
市長	就学援助を受けている割合は本市ではどのくらいなのでしょう。
事務局（教育委員会事務局長）	約1割でございます。
教育長	例えば給食費が滞っている等で、親御さんと教員とで話し合いを行う中で、就学援助制度の説明をして支援へつなげていくということはやっております。
市長	まさに就学援助が貧困の方々に対してのケアであるわけですね。
今井議員	そういう対応を教員がやらなくてはいけないことが、教員の仕事の負担につながっていると思いますので、スクールソーシャルワーカーのような専門的な人に仕事を分担していき、担任ではない人がカバーできるような制度が必要かなと思います。
市長	現在も実際にスクールソーシャルワーカーを配置して、色んな仕事をしてもらっているわけですね。
教育長	ソーシャルワーカーには、今は主に小学校を回ってもらっており、不登校のお子さんなどについて担任や校長から話を聞きながら対応してもらっています。 働き方とも関係するのですが、教員の性質として子どものことは全部自分がやらなくてはという思いで頑張ってしまう人が多いのです。
市長	分かります。目には見えないけれど、それが子どもによい影響を及ぼしている可能性もありますからね。夜も心配でお子さんの家に駆け込んでいたりするような先生だから、親がしっかりしていなくてもその先生の言うことだけは聞いて成長していくことも影ながらあるのだと思います。
教育長	割り切って仕事ができないという部分はあると思います。だから仕事が増えてしまうということもあるかと思っています。
市長	その中でもある程度は仕分けをして、この仕事は切り離してもいいのではと判断することも大事かと思っています。 何か根は全てどこかでつながっている気がしますね。

市長	<p>総合教育会議として、今日出された課題等に対して今後どういう方向性で行くのがよろしいでしょうか。</p> <p>私からは、少し話が戻りますが、先ほど教育長がおっしゃったようにネット問題に対して各PTAでの取組みが進んでいる、あるいは具体的に何かするような動きが出れば、今後この場で状況報告してほしいと思います。また先生の働き方についても動きがあれば報告をお願いします。報告していただく中で、皆さまからご意見をいただきたいと思います。</p> <p>さらに、子育て支援の関係でお子さんのネット依存へ対して市長部局の方でも何か対応策を実施あるいは検討、またはそういう段階にまだないのかということも関係してくると思います。ネット問題の現状についての情報提供は子育て支援の観点からもやってもいいと思います。</p>
今井委員	<p>ブックスタートとかも、ただ絵本がいいということではなく、親子関係を深めるという意味で重要だと思いますので、その一つとしてスマホとの関わり方というのも伝えていければいいと思います。</p>
事務局（生涯学習課長）	<p>「母子手帳」と一緒に「親子手帳」を渡しており、その中にスマホの危険性についても載っていますので、全部ご覧いただいている方についてはそのページも読んでいただいているかと思います。</p>
市長	<p>さらに「親の学習手帳」を改訂する時期が来ている中で、スマホへの対応についても含め、内容を少し考える必要があるという話にはなっているようです。</p>
市長	<p>そろそろお時間なのですが、内容が色々な方向に行き、どのようにこの場を閉じようか悩んでいるのですが、富沢先生、何か妙案はございませんでしょうか。</p>
富沢教育長職務代理者	<p>それでは、次回の会議の議題については今日の会議を踏まえ、教育委員会の方から一つ提案させていただきたいと思います。</p>
市長	<p>今回の会議で出た、ネット問題、先生の働き方、子どもの貧困、教育委員会の中でくすぶっている問題の報告、等々を踏まえていただいて、教育委員さんの中で協議して決めていただければと思います。</p> <p>それでは、これで議事を閉じたいと思います。今年度の総合教育会議については以上とさせていただきます。ありがとうございました。それでは事務局に進行をお返しします。</p>
事務局（企画課長）	<p>皆様には、慎重審議大変ありがとうございました。</p> <p>最後に「その他」といたしまして、来年度のスケジュールについて事務局よりご説明いたします。</p>
事務局（企画課長補佐）	<p>ご説明いたします。来年度の総合教育会議についてですが、第1回会議を6月頃に開催したいと考えておりますので、来年度も引き続きよろしくお願いたします。なお、今年度の総合教育会</p>

様 式

	議の開催につきましては、本日の第3回が最後でございます。ご協力ありがとうございました。 その他につきましては、以上でございます。
事務局（企画課長）	以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。

市 長

吉田 浩解

教 育 長

勝山 勉